**日中関係学会　対外交流部会オンライン研究会（２月10日）**

「アフリカビジネスから見た中国」

講　　 師：　椿　　進　氏

　　　　　　　　　Asia Africa Investment and Consulting(AAIC)代表パートナー

コメンテーター：林　千野　日中関係学会　副会長

世界の新たな経済成長点として注目されるアフリカへの中国のアプローチは日本のそれはるかにを凌ぐ勢いで進んでいると言われます。古くは明の時代に鄭和が大船団を率いて東アフリカまで遠征した歴史や、改革開放前の南南協力をベースにした深い外交関係もあります。

日本はTICADを通じてアフリカに対して官民共同で質の高い経済協力を進めて来ましたが、中国は今世紀に入ってFOCAC（中国アフリカ協力フォーラム）を組織、最近では一帯一路構想の中で中国経済が急激に浸透してきています。債務国の罠と言われる弊害も指摘されますが、ODAに限らず貿易や事業投資も着々と進んでいるようです。

依然コロナ禍から抜け出せない世界ですが、中国は着々と地歩を築いています。この現実に日本としてはなにをなすべきか、中国と協業する余地はあるのか、欧米は中国への対抗姿勢を示しつつも、フランスなどは中国との連携などもしたたかに画策する動きもあります。

今回はアフリカビジネスに現場で長いご経験をお持ちの椿さまにぜひこのあたりも含めご高見を拝聴したいと存じます。

会員、非会員の皆様におかれましては、是非ご参加ください。

＝開催要領＝

日時： ２月10日（木）　１８：0０～20：0０　（質疑応答込み）

会場： オンライン　ZOOM　（定員100名、先着順）

参加費： 会員（社会人・学生）と非会員（学生）は無料、非会員（社会人）は１０００円

**【会員（社会人・学生）、非会員（学生）の方】**

下記のリンクから「Google form」を開き、▼ご氏名、▼ふりがな、▼メールアドレス、▼電話番号（任意）、▼ご所属（学生非会員の場合は、学校名、学部、学年）▼所属支部（関東・東海・関西・海外）をご記入の上、送信して下さい。（登録後「受け付けました」とのメッセージが出ますが、確認メールは送付されませんので、重複登録にご注意下さい）

<https://forms.gle/WU4Yfy1ZHcR1NcxC9>

何らかの事情でGoogle formを開けない方は、Ｅメールの件名に「２月１0日研究会参加希望」とお書きの上、上記の必要事項を記載して、下記の担当者にお送りください。ＺＯＯＭのリンク情報は、後日、Ｅメールでお知らせします。ご不明な点があれば担当者にお尋ねください。

■担当：　中島俊輔（日中関係学会事務局）　shun.nakajima@gmail.com

**【非会員（社会人）、日本在住の方】**

下記のリンクから、「イベントペイ」を開き、必要事項をご記入ください。

<https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=6794493562486728&EventCode=P321473563>

**＜参加費のお支払い方法＞**

▼現在、イベントペイに対する第三者機関によるセキュリティ調査のため1月下旬までクレジットカード決済がご利用いただけません。コンビニ決済やペイジー決済などその他決済のご利用をお願いいたします。

▼コンビニ決済、ペイジー決済の場合は、入金確認のあと、ＺＯＯＭのリンク情報をメールでお知らせします。　尚、入金後の返金はできかねますのでご了承ください。ご不明の点があれば、下記の担当者までご連絡ください。

**【非会員（社会人）、海外在住の方】**

現在「イベントペイ」のクレジットカード決済が利用できないため、お名前、ご所属をご記載の上、メールで下記担当までお申し込みください。参加費については、「イベントペイ」のクレジットカード決済が利用できるようになってから、**後日、請求させていただきます。**

■担当：　林千野（日中関係学会事務局） hayashi.chino@sojitz.com

準備の都合上、参加申し込みは、２月８日（火）までにお願いします。なお、それ以前に申し込みが定員に達した場合は、受付を締め切らせていただきます。

皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

【講演者略歴】

椿 進(つばき　すすむ)

AAIC （Asia Africa Investment and Consulting）代表パートナー

アジア・アフリカのスペシャリスト。東京大学教養学部卒業。ボストン コンサルティング グループ(BCG)のパートナー・マネージングダイレクターとして、事業戦略、M&A戦略、新事業立ち上げ、グローバリゼーション等のプロジェクトを実施。2008年に現AAICを創業し、代表パートナーに就任。中国・東南アジア・インド・中東・アフリカ等の新興国において、新規事業育成、市場参入支援等をコンサルティングと投資を通じて実施。日本初のアフリカ・ファンドも運用。ルワンダでは東京ドーム40個分の広さのマカデミアナッツ農園も手がけている。執筆、講演多数。後進の育成にも力を注ぎ、ビジネス・ブレークスルー(BBT)大学大学院教授として新興国ビジネス事例研究を教えている。

**<最近の著作のご紹介＞　以下、「出版社から」より抜粋**

**「超加速経済アフリカ：LEAFFROGで変わる未来のビジネス地図」(東洋経済新報社)**

**現地情報×ファクトフルネスで、知識をリカレントする！新感覚ビジネスパーソンの教養書**

＜新幹線が走り、巨大なショッピングモールがあるアフリカ＞

銀行口座がなくてもキャッシュレス決済、どんな田舎でも受診できるAI医療診断、爆発的な人口増加、平均年齢19歳、テック系スタートアップの躍進、キャッシュレス化率90%、新幹線の開通、ショッピングモールの登場など…

本書を読めば、アフリカのイメージがきっと一変します。アフリカは、かつて日本や中国、インドが歩んできた道を、加速度をつけて突き進んでいるのです。最先端のテックビジネスが社会実装され、近未来のビジネス地図がまさに今、書き換えられようとしているのです。これが本当のアフリカなのです。（「はじめに」より抜粋）

**大前研一氏推薦！**

人類発祥の地「アフリカ」がいよいよ来た！アフリカ最前線での事業と投資からのレポートだ。社会課題が山積されつつも、いよいよ高度成長期の入り口に入ってきた。実は日本人は答えを知っている。50年前の日本、25年前の中国、10年前のインドがそこにあるからだ。30年前のアフリカのままの頭をこの本で切り替えて、今のアフリカを刮目して見よ！

ーー大前研一氏より

【コメンテーター略歴】

林　千野

1980年～1984年　北京語言学院（現語言大学）留学

1985年　双日の前身である日商岩井入社

1998年～1999年　米国ワシントンD.C.のシンクタンク　CSISジャパンデスクにビジネスフェローとして在籍

2002年～2006年　日商岩井北京駐在員事務所駐在（2004年、ニチメンとの合併により「双日」に社名変更）

2007年～2014年　海外業務部中国デスクリーダー

2015年～2017年　海外業務部中国デスクリーダー兼中東アフリカデスクリーダー

2017年～2020年　海外業務部中国デスクリーダー兼北東アジアデスクリーダー

2021年　組織変更により、秘書部担当部長　中国・北東アジア担当

以　　　上